



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

# 2025年3月期第2四半期 決算概要説明

2024年11月20日

■ 事業概要	2
■ 2025年3月期2Q 決算概要	9
■ 2025年3月期 業績予想	12
■ 株主還元	19

2025年3月期第2四半期 決算概要説明

## 事業概要

社名	小松ウオール工業株式会社
代表取締役社長	加納 慎也
設立	1968年1月
上場市場	東証 プライム (7949)
事業内容	可動間仕切、固定間仕切、トイレブース、移動間仕切、ロー間仕切の製造、設計、販売、施工等
売上高	435億円 (2024年3月末)
従業員数	1,353名 (2024年3月末)
本社	石川県小松市工業団地1丁目72番地
営業拠点	全国53支店 (2024年3月末)

# 主要製品 売上高構成比

## 可動間仕切

売上高 18,316 百万円  
構成比 42.1 %



## 固定間仕切

売上高 9,184 百万円  
構成比 21.1 %



## トイレブース

売上高 8,033 百万円  
構成比 18.4 %



## 移動間仕切

売上高 5,963 百万円  
構成比 13.7 %



## ロ一間仕切

売上高 641 百万円  
構成比 1.5 %

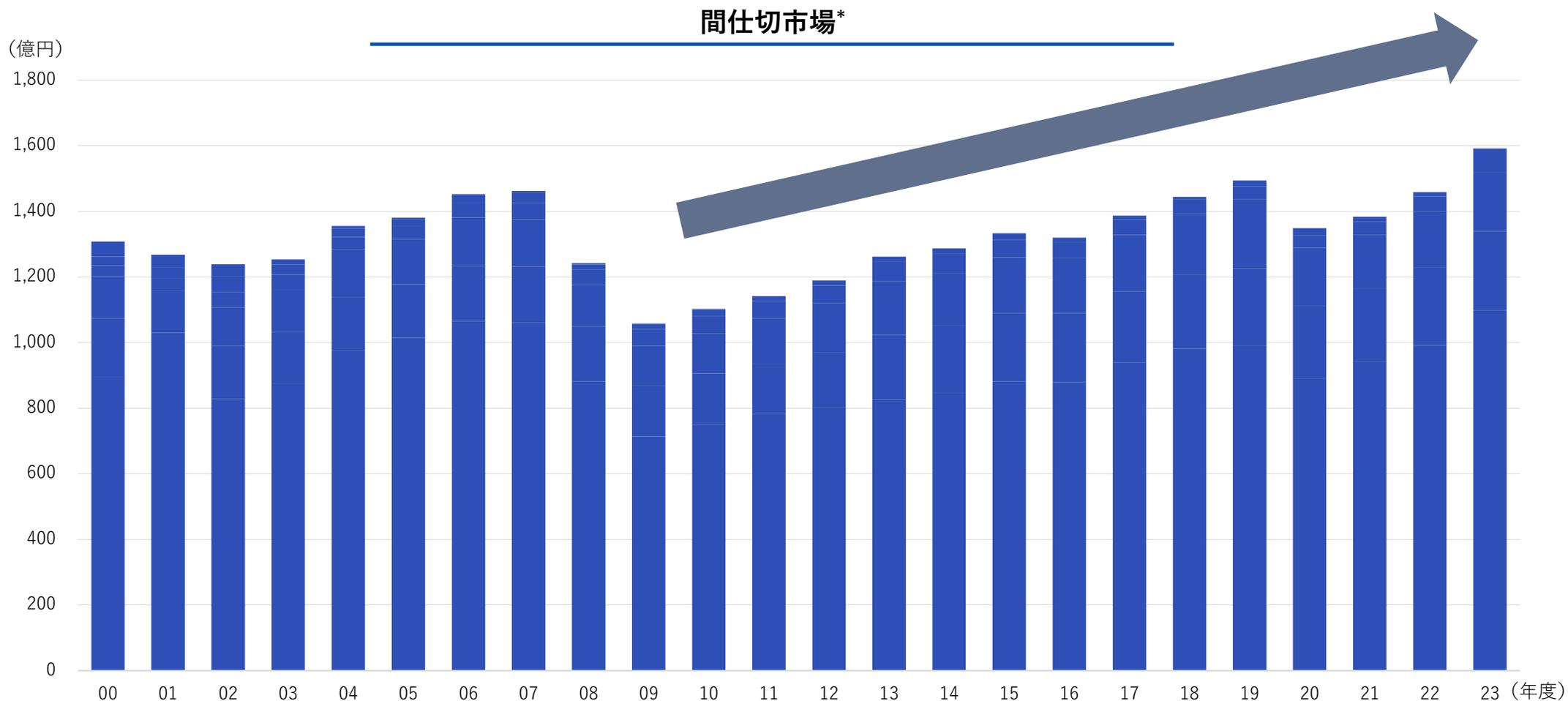


売上高

43,551

百万円  
(2024年3月期)

- 2008年度のリーマンショックによる減少後は着実に回復、2023年度は9.1%増の1,591億円の販売高と2000年度以降で最高の販売高
- 2023年のオフィスビルの竣工は減少したと推定されるがリニューアルの増加で間仕切市場は好調、学校や福祉施設なども堅調

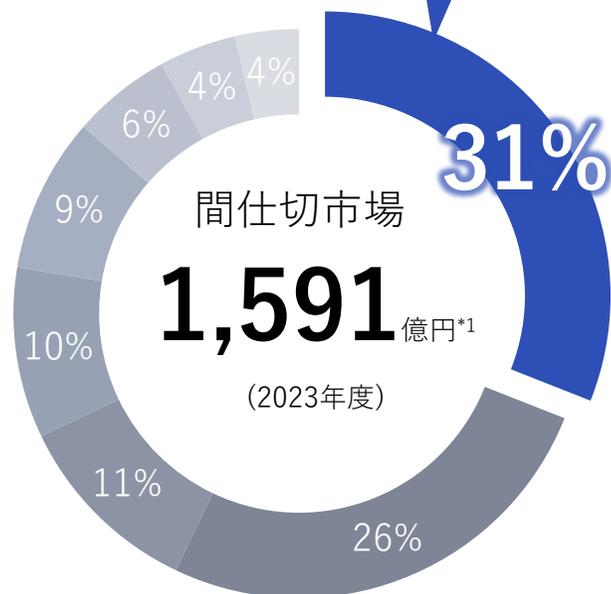


\* 日本パーティション工業会に属する間仕切メーカー10社の販売高合計

# 当社のポジション

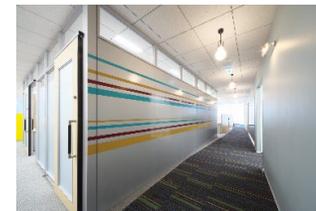
■ 2023年度の間仕切市場は1,591億円、当社のシェアは業界トップの31.0%（前年度は29.2%）で前年度比1.8ポイント上昇、市場規模の大きい可動間仕切、移動間仕切、トイレブースで高シェア

👑 間仕切業界 シェア1位 👑



■ 当社 ■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社 ■ E社 ■ F社 ■ その他

可動間仕切  
**28.6%** シェア2位  
 (前年度 27.5%)



移動間仕切  
**38.1%** シェア1位  
 (前年度 36.1%)



トイレブース  
**37.1%** シェア1位  
 (前年度 34.1%)



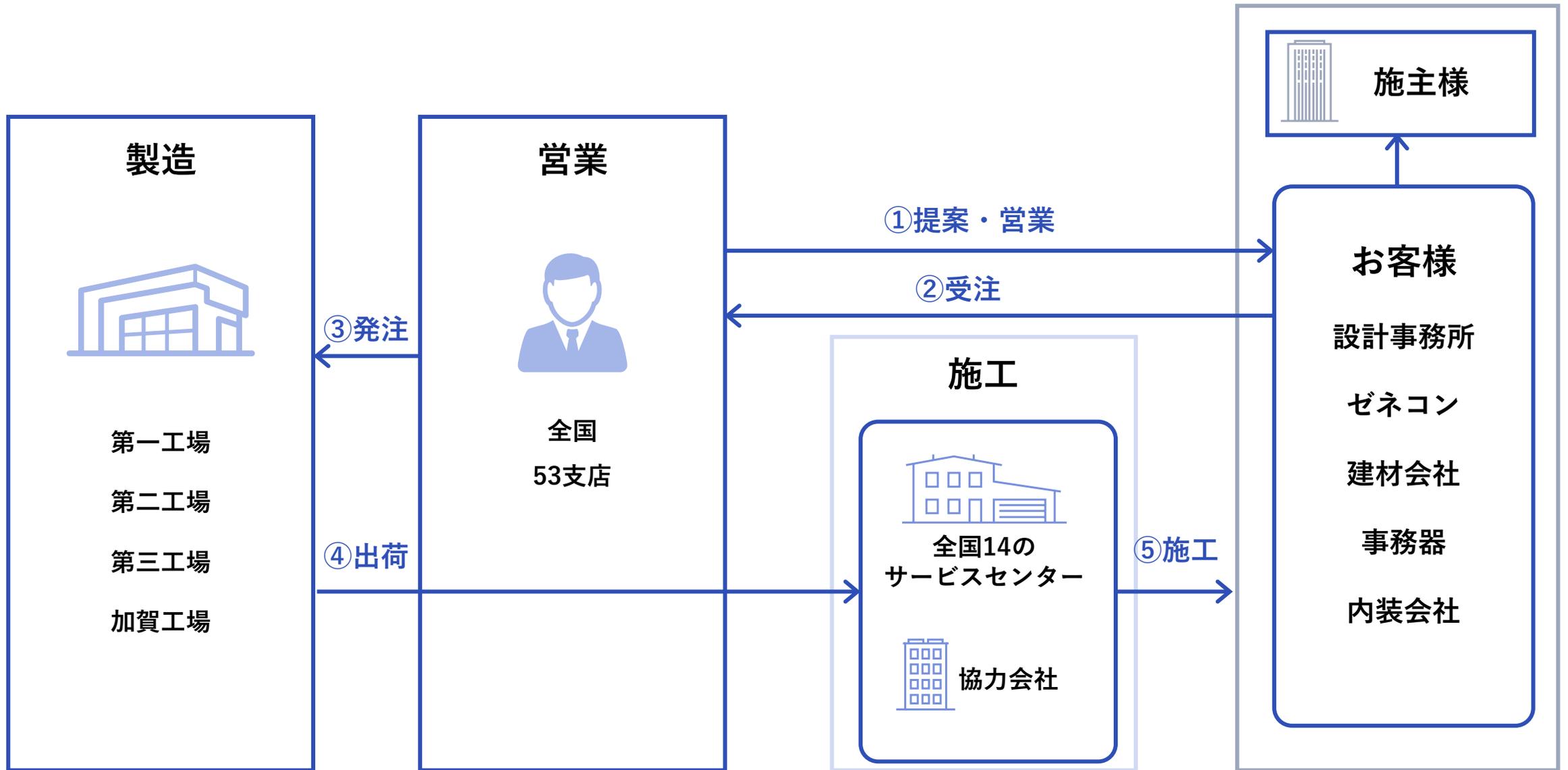
学校間仕切  
**16.8%** シェア4位  
 (前年度 13.1%)



壁面化粧パネル  
**53.6%** シェア1位  
 (前年度 39.1%)



\* 当社調べ



## オーダーメイド品を短納期で、全国に供給できる体制



2025年3月期第2四半期 決算概要説明

## 2025年3月期2Q 決算概要

# 決算概要

■ オフィスのリニューアル需要などが堅調に推移し、前年同期比増収となったが、物流費増加や賃借料の上昇もあり、営業利益は同25.3%減益

■ 期初から上期のコスト増加を見込んでおり、期初計画比ではほぼ想定通りの利益

単位：百万円	2023年3月期2Q		2024年3月期2Q		2025年3月期2Q従来予想 (24年4月時点)		2025年3月期2Q実績		前年同期比 増減率	予想比 増減率
売上高	16,074	100%	19,691	100%	20,800	100%	20,117	100%	2.2%	△3.3%
営業利益	282	1.8%	1,300	6.6%	1,000	4.8%	971	4.8%	△25.3%	△2.8%
経常利益	312	1.9%	1,373	7.0%	1,020	4.9%	1,048	5.2%	△23.7%	2.8%
当期純利益	196	1.2%	950	4.8%	660	3.2%	738	3.7%	△22.3%	11.9%
1株当たり 当期純利益	10円60銭		51円09銭		35円44銭		39円56銭*		△22.6%	11.6%
1株当たり 配当金	40円00銭		55円00銭		60円00銭		60円00銭**		9.1%	—

\* 2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割。1株当たり当期純利益の算出は分割後の株数で遡及修正

\*\* 配当については分割前（9月末）の株主に対する配当額（遡及修正をしていない）

# 品目別売上高

■ オフィスのリニューアルや学校・福祉施設向けが堅調で間仕切や軽量ドアなどが増収、新築ビル竣工の端境期などによりトイレブースは減収

■ 受注残も可動間仕切の好調な受注が続き、全体では前年同期比7.5%の増加

単位：百万円	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q					
	実績	実績	前年同期比 増減率	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
売上高	19,691	<b>20,117</b>	<b>2.2%</b>	24,463	7.8%	<b>21,025</b>	<b>7.5%</b>
└ 可動間仕切	8,611	<b>8,837</b>	<b>2.6%</b>	10,648	21.9%	<b>5,865</b>	<b>35.7%</b>
└ 固定間仕切	4,109	<b>4,358</b>	<b>6.1%</b>	5,325	△9.6%	<b>5,990</b>	△1.6%
└ トイレブース	3,341	<b>3,164</b>	△5.3%	4,446	1.5%	<b>4,419</b>	<b>6.0%</b>
└ 移動間仕切	2,651	<b>2,888</b>	<b>9.0%</b>	3,169	11.2%	<b>4,338</b>	△5.6%
└ ロー間仕切	294	<b>261</b>	△11.0%	296	△1.9%	<b>102</b>	<b>8.1%</b>
└ その他	683	<b>606</b>	△11.3%	577	7.1%	<b>309</b>	<b>8.8%</b>

2025年3月期第2四半期 決算概要説明

## 2025年3月期 業績予想

# 業績予想

- 通期業績は期初予想を継続。オフィスのリニューアル需要などが引き続き堅調、売上高は前期比5.6%増収を予想
- 物流費増加や賃借料の上昇を見込むものの、増収によりコスト増を吸収し、営業利益は同4.4%増益と引き続き増益を予想
- 引き続き純資産配当率（DOE）3%を上回る配当を実施予定で、配当は上期60円、下期35円\*（株式分割前70円）を計画

単位：百万円		2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期 通期予想		前期比 増減率	
売	上	高	37,772	100%	43,551	100%	<b>46,000</b>	<b>100%</b>	<b>5.6%</b>
営	業	利	2,306	6.1%	3,640	8.4%	<b>3,800</b>	<b>8.3%</b>	<b>4.4%</b>
経	常	利	2,363	6.3%	3,732	8.6%	<b>3,850</b>	<b>8.4%</b>	<b>3.2%</b>
当	期	純	1,627	4.3%	2,775	6.4%	<b>2,850</b>	<b>6.2%</b>	<b>2.7%</b>
1	株	当	87円64銭		149円04銭		<b>153円03銭*</b>		<b>2.7%</b>
1	株	当	95円00銭		125円00銭		<b>上期 60円00銭** 下期 35円00銭</b>		<b>4.0%</b>

\* 2024年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を実施。1株当たり当期純利益は分割後の株数で算出、過去実績も遡及修正

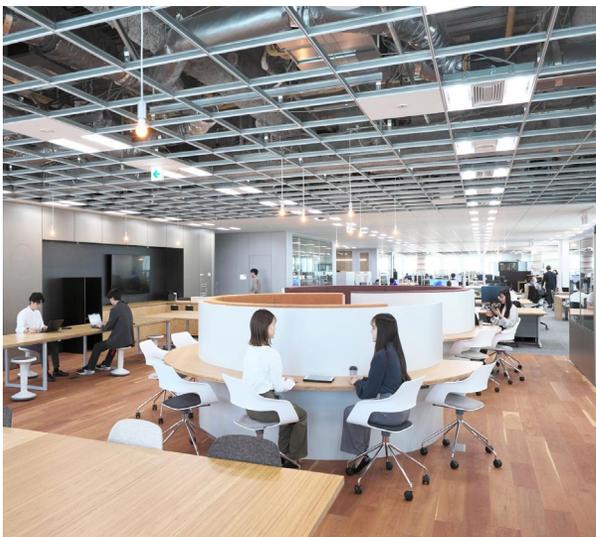
\*\* 2024年3月期の配当は上期は分割前、下期は分割後の配当予想。株式分割前の下期の配当予想は70円で年間130円（分割前）と期初計画通り実施予定

# 大型ショールーム開設・増床

- 2019年から大型ショールームを強化し、大阪、東京、仙台、名古屋にショールームを順次開設
- デザイン事務所や依頼企業が当社製品に直接触れることで、デザイン性に優れた高付加価値製品の採用が増加

2019/11  
大阪

(2024/10移転リニューアル)

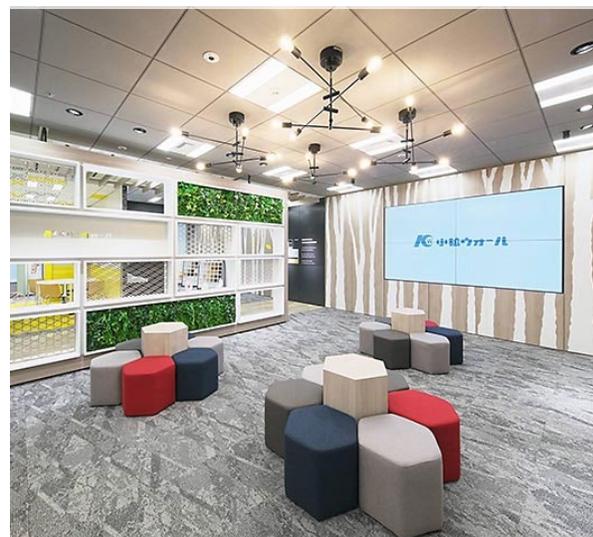


2021/1  
東京

(2024/5リニューアル)



2021/10  
仙台



2023/7  
名古屋

(2025年リニューアル予定)



## オフィス系支店の開設

■ オフィス移転工事の需要を取り込むため、デザイン事務所や事務器メーカー専門の営業拠点（オフィス系支店）を開設

### オフィス系支店 の開設

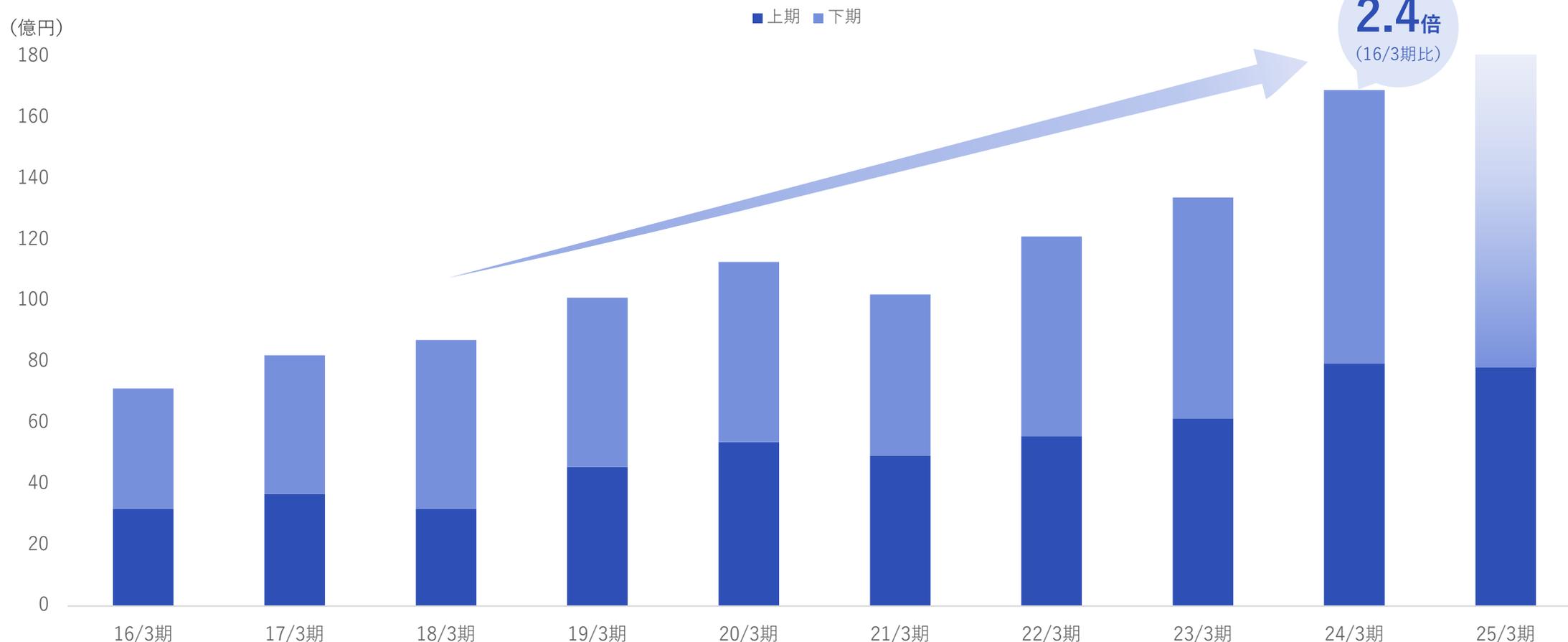
- 2016年 以前 | 大阪、東京、東京OS
- 2016年4月 | 仙台、横浜、名古屋、福岡
- 2017年4月 | さいたま
- 2017年10月 | 神戸
- 2021年10月 | 札幌、京都、大阪OS、広島



# オフィス系支店開設地域のオフィス用途売上高推移

■ 該当地域における2024年3月期のオフィス用途売上高は2016年3月期比で2.4倍に増加、今期も増収を見込む

オフィス系支店開設地域のオフィス用途売上高推移



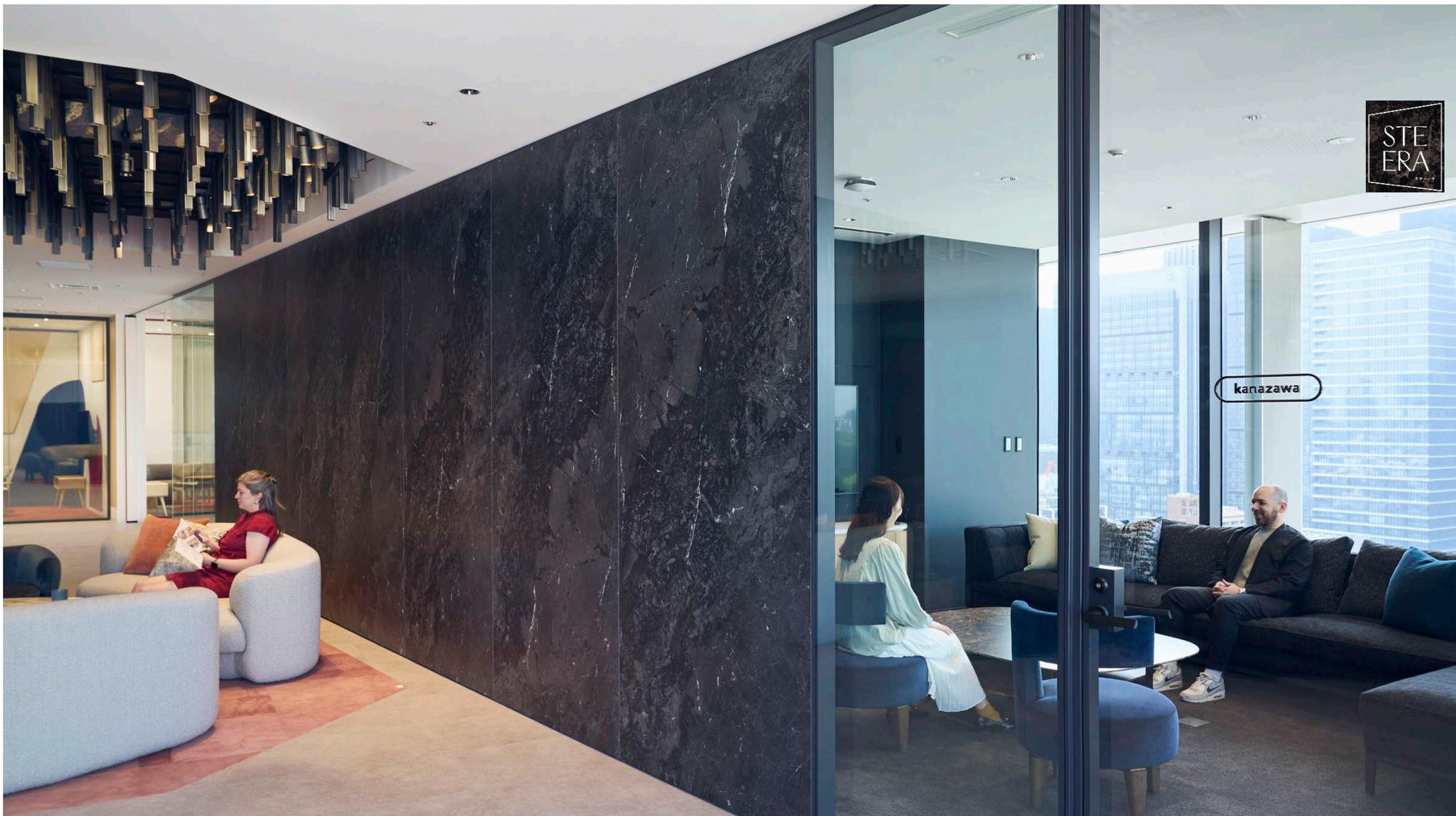
# 大阪ショールームをリニューアル

■ 2024年10月に大阪ショールームを移転リニューアル。社員が働く姿、製品の利用をご覧ください



# 「STEERA」を発売予定

■ 仕上材にタイルや木・ファブリックなどを使い、高い意匠性を実現した高付加価値製品



2025年3月期第2四半期 決算概要説明

## 株主還元

## 株主還元（自己株式取得）

- 9月30日最終の株主に対して普通株式1株を2株に分割し、投資をしやすい環境を整備
- 資本効率向上を通じた株主利益の向上を図るために、11月1日に113万株の自己株式（発行済株式数の5.99%）を取得
- また将来の株式の希薄化懸念を払拭するために、11月8日に208万株（発行済株式数の9.56%）の株式を消却

## 自己株式取得の概要

取 得 日	11月1日
-------	-------

取 得 株 式 数	113万株 (発行済株式数の5.99%)
-----------	-------------------------

取得価額の総額	1,717百万円
---------	----------

## 自己株式消却の概要

消 却 日	11月8日
-------	-------

消 却 株 式 数	208万株 (発行済株式数の9.56%)
-----------	-------------------------

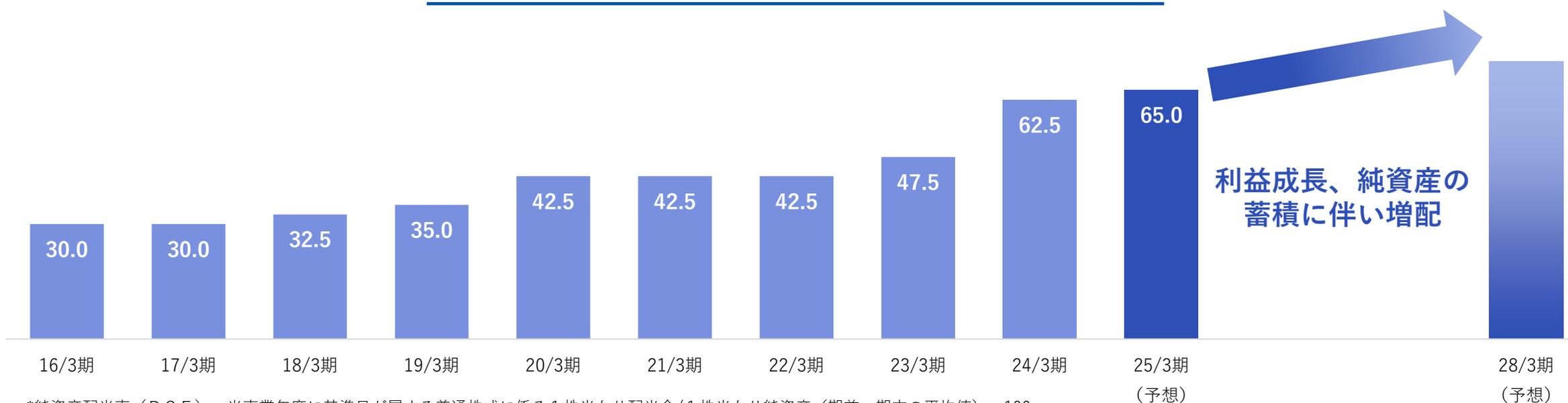
## 株主還元（増配）

- 2023年4月に株主還元方針を純資産配当率（DOE3.0%を下限）に変更。方針変更に基づき2025年3月期も増配を計画
- 2025年3月期上期は前年同期比5円増配の60円（株式分割前）を実施、下期は前年同期と同額の35円（分割後）を実施予定

## 株主還元方針

純資産配当率\*（DOE）3.0%を下限とする配当を実施し、  
持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指す

1株当たり配当金推移\*\*（円）



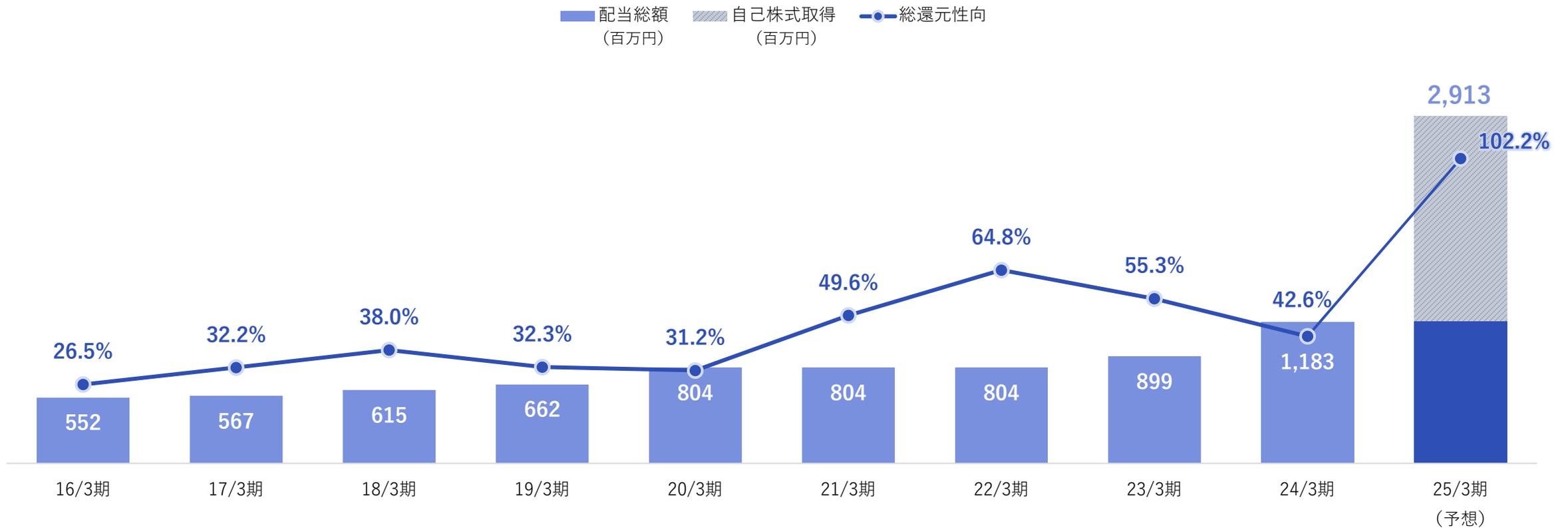
\*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

\*\*2024年10月1日付で1：2の株式分割を実施。過年度の配当金は株式分割後の株数での配当金に遡及修正

# 総還元性向

- 2023年4月に株主還元方針を純資産配当率（DOE3.0%を下限）に変更し株主還元を強化
- 2025年3月期は自己株式取得を行い、総還元性向は102.2%へ上昇

## 総還元性向



2025年3月期第2四半期 決算概要説明

## Appendix

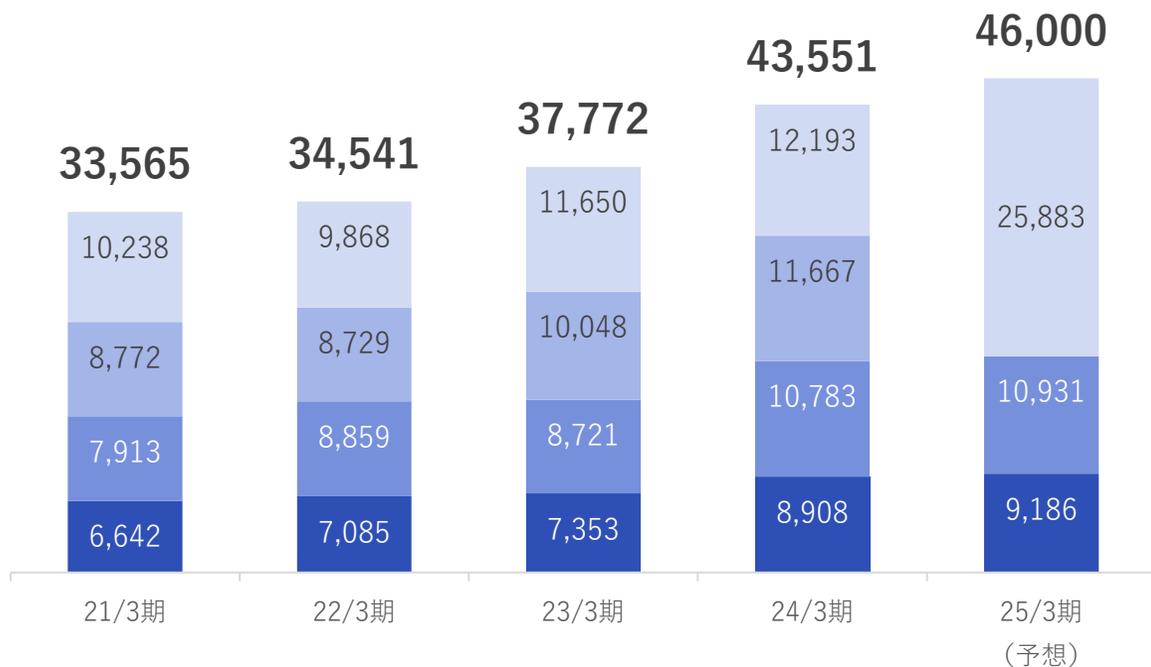
# 四半期業績推移

- 2025年3月期2Qの売上高はオフィスリニューアルや学校・福祉施設向けが好調で増収、営業利益は物流費増加や賃借料の上昇等により減益
- 25年3月期はオフィスリニューアルに加えてホテルや学校向け製品の増収効果により営業増益に転じ、通期では増収増益を予想

### 四半期売上高

(百万円)

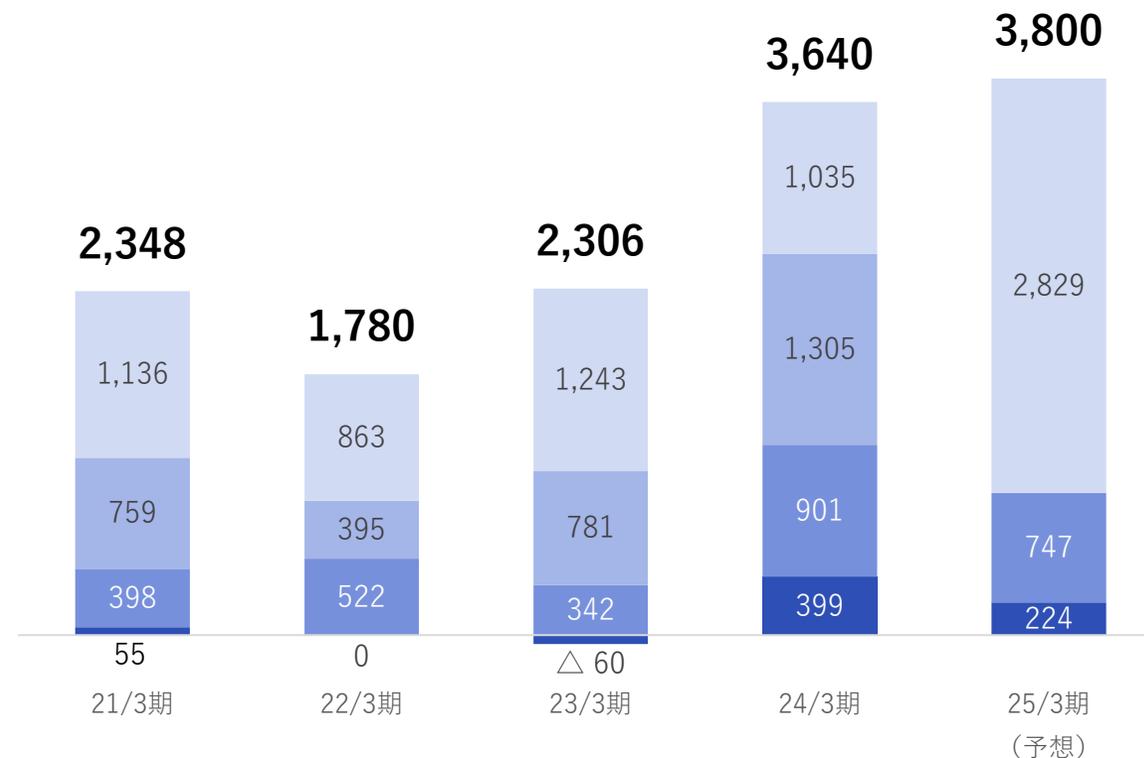
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



### 四半期営業利益

(百万円)

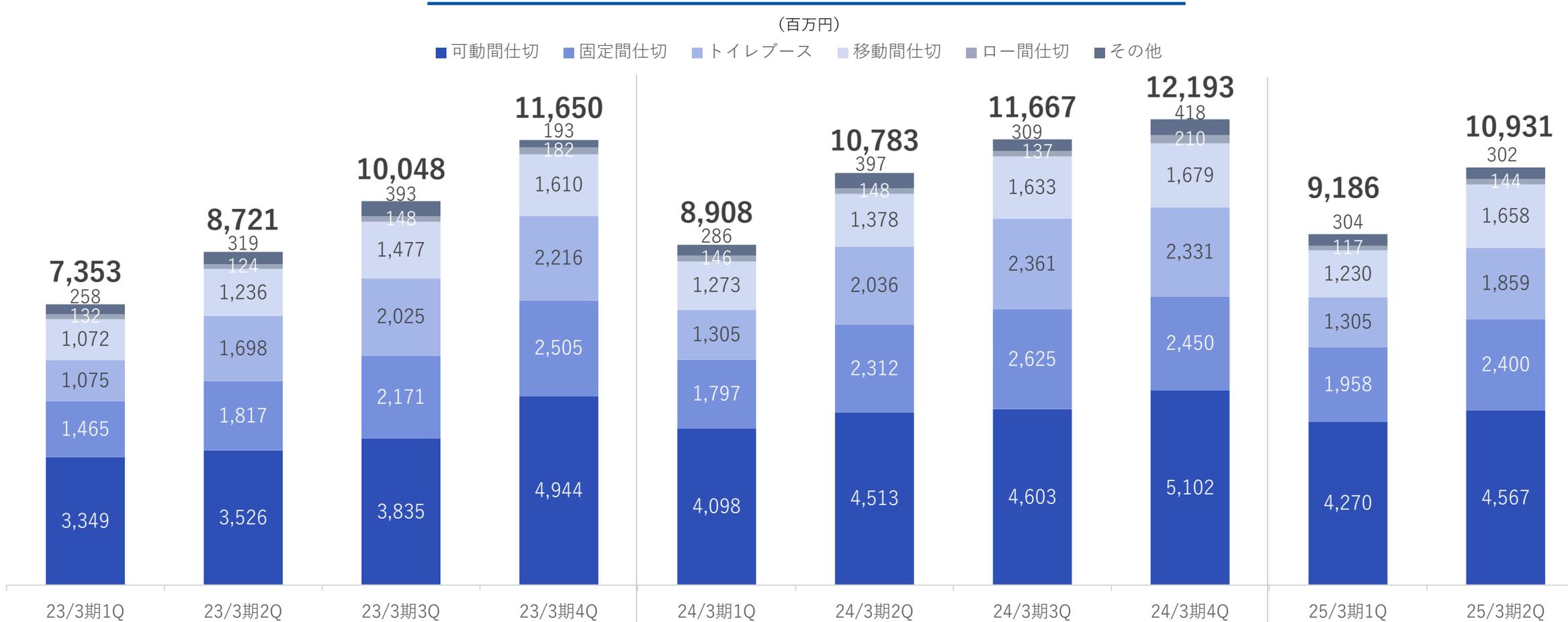
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



# 四半期品目別売上高推移

- 2025年3月期2Qの売上高は可動間仕切や固定間仕切がオフィスや学校・福祉施設向けを中心に堅調
- ホテルなど宿泊施設の需要が回復し、移動間仕切も好調

## 品目別売上高



# 貸借対照表

■ 2Qは季節性により4Q比で減収となったため、売上債権や買掛金が減少

■ 自己資本比率は83.0%と高い水準を維持、一方で増配等により純資産は2024年3月期末と同水準

単位：百万円	2023年3月期末	2024年3月期末	2025年3月期2Q末	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>29,999</b>	<b>32,539</b>	<b>30,774</b>	<b>△1,765</b>
現預金	15,579	17,640	18,002	362
売上債権	13,181	13,615	11,227	△2,388
棚卸資産	1,023	1,123	1,213	90
<b>固定資産</b>	<b>14,760</b>	<b>14,915</b>	<b>15,111</b>	<b>196</b>
有形固定資産	11,922	11,767	12,113	346
無形固定資産	420	385	403	18
投資その他の資産	2,418	2,763	2,594	△169
<b>総資産</b>	<b>44,760</b>	<b>47,455</b>	<b>45,886</b>	<b>△1,569</b>
<b>負債</b>	<b>8,535</b>	<b>9,388</b>	<b>7,786</b>	<b>△1,602</b>
買掛金	2,345	2,350	1,957	△393
有利子負債	0	0	0	0
<b>純資産</b>	<b>36,225</b>	<b>38,067</b>	<b>38,099</b>	<b>32</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>44,760</b>	<b>47,455</b>	<b>45,886</b>	<b>△1,569</b>

# キャッシュ・フロー計算書

■ 利益計上に加え、売上債権も減少し、営業キャッシュ・フローは1,677百万円、フリーキャッシュフローも521百万円のプラス

■ 増配に伴い配当金の支払額は増加したが、期末現預金は13,373百万円と前年同期比639百万円増加

単位：百万円	2023年3月期2Q	2024年3月期2Q	2025年3月期2Q	前年同期差
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,110</b>	<b>2,424</b>	<b>1,677</b>	<b>△747</b>
税引前当期純利益	340	1,373	1,100	△273
減価償却費	503	522	564	42
売上債権の増減額 (△は増加)	1,986	1,633	2,388	755
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△171	△46	△90	△44
仕入債務の増減額 (△は減少)	△217	△291	△392	△101
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△327</b>	<b>△637</b>	<b>△1,156</b>	<b>△519</b>
有形固定資産の取得による支出	△265	△611	△639	△28
定期預金の預入・払戻による支出入	0	0	△500	△500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△426</b>	<b>△528</b>	<b>△669</b>	<b>△141</b>
配当金の支払額	△426	△520	△661	△141
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>12,603</b>	<b>12,734</b>	<b>13,373</b>	<b>639</b>
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>1,783</b>	<b>1,787</b>	<b>521</b>	<b>△1,266</b>

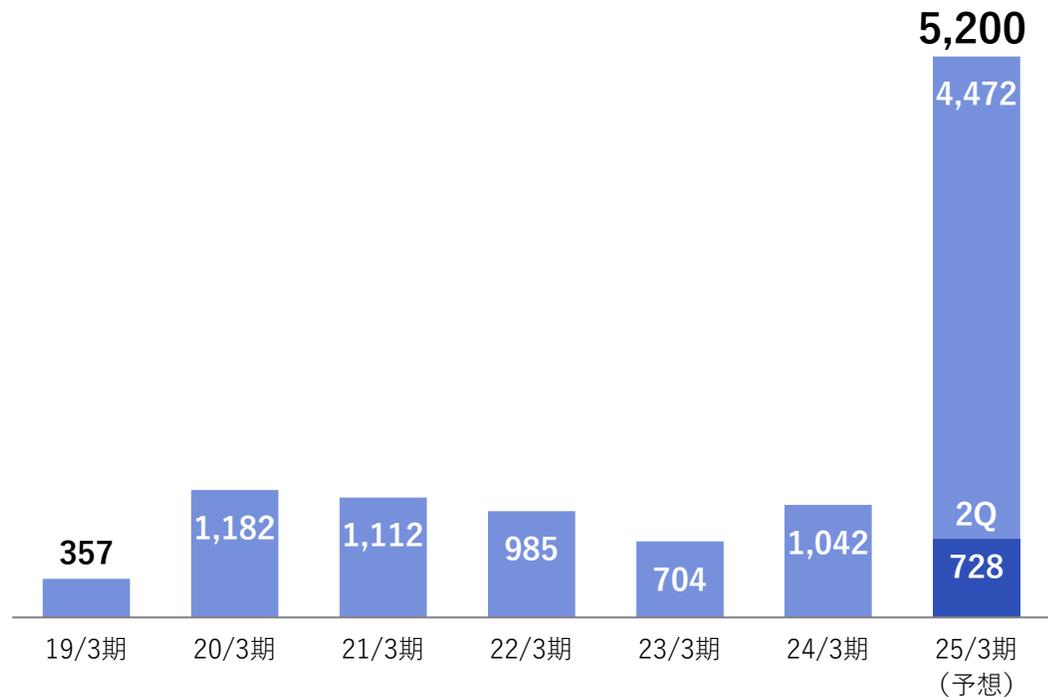
# 設備投資、減価償却費

■ 2025年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪ショールームへの投資等で5,200百万円の設備投資を計画

■ 上期は東京ショールーム増床への投資や既存機械設備の維持更新等で728百万円の設備投資を実施

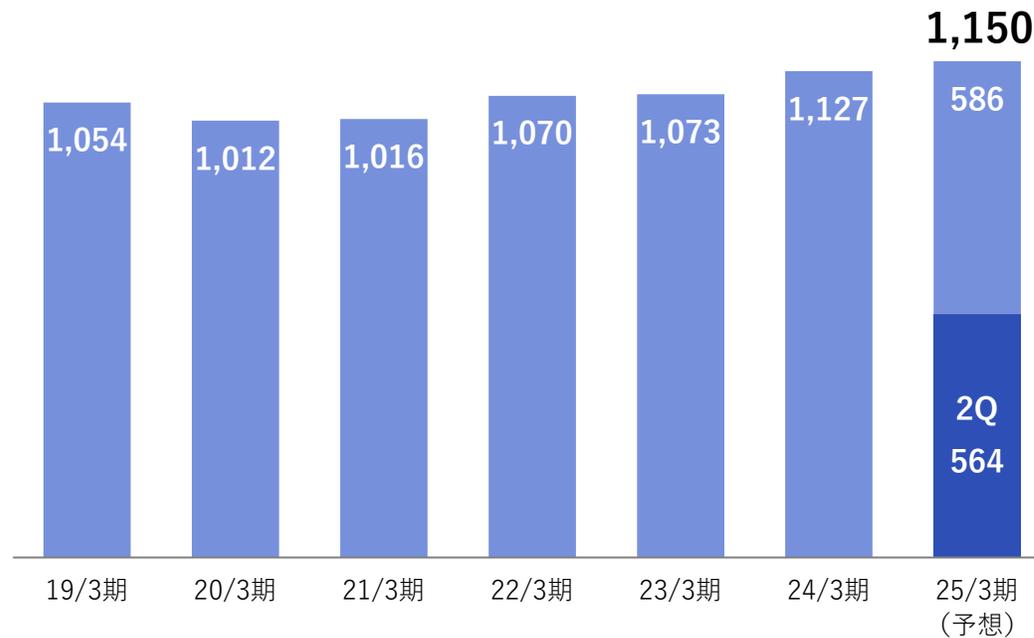
設備投資

(百万円)



減価償却費

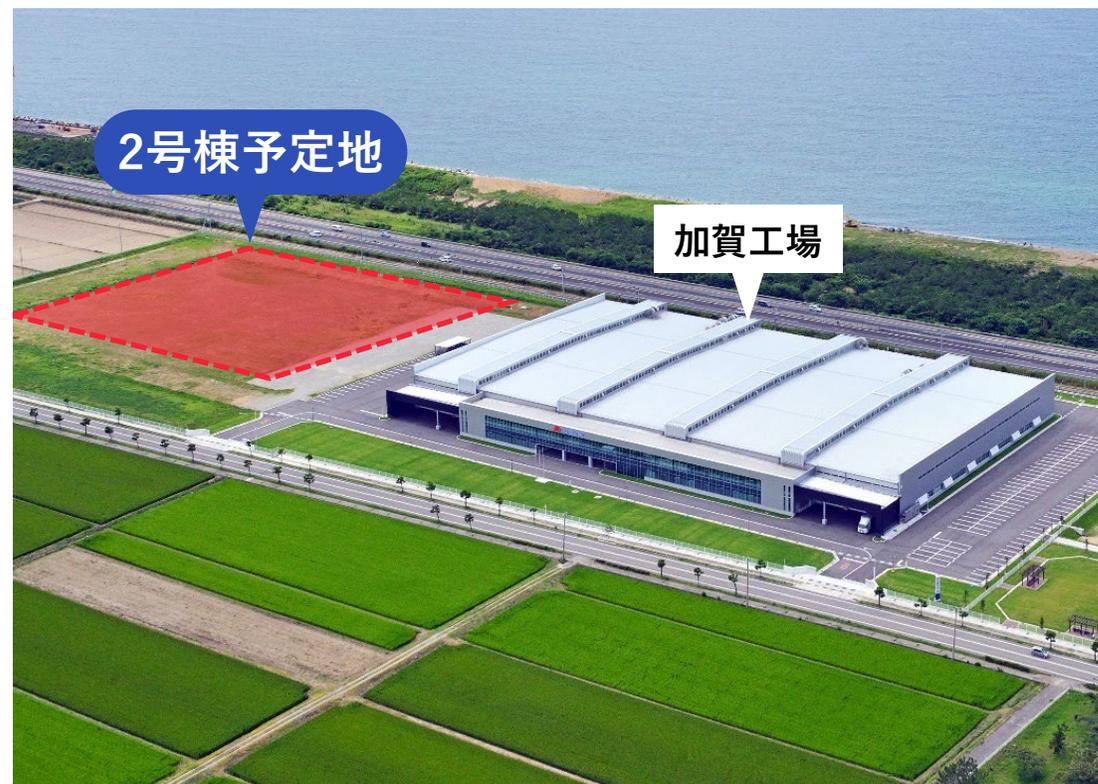
(百万円)



## 加賀工場2号棟建設（2024年4月発表）

- 加賀工場の隣接地に新棟を建設し、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管し、生産能力増強
- 生産ライン移管後の空きスペースを活用し、物流体制効率化のため出荷業務体制を整備

名 称	加賀工場2号棟（仮称）
主 な 事 業	可動間仕切の製造 研究開発
投 資 金 額	約95億円
建 築 面 積	約19,000㎡
延 床 面 積	約19,700㎡
建 設 開 始 年 月	2025年2月予定
操 業 開 始 年 月	2026年6月予定



- 約95億円の投資で加賀工場第2号棟を建設予定、中計期間中の設備投資額も累計50億円以上から150億円以上に増額修正（4月25日発表）
- 2024年3月期はショールームや合理化投資に10億円、25年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪のショールームへの投資で52億円を計画

## NEXT VISION 2028

既存間仕切事業の成長

新規製品の創出

生産・物流オペレーションの高度化

サステナビリティの推進

設備投資

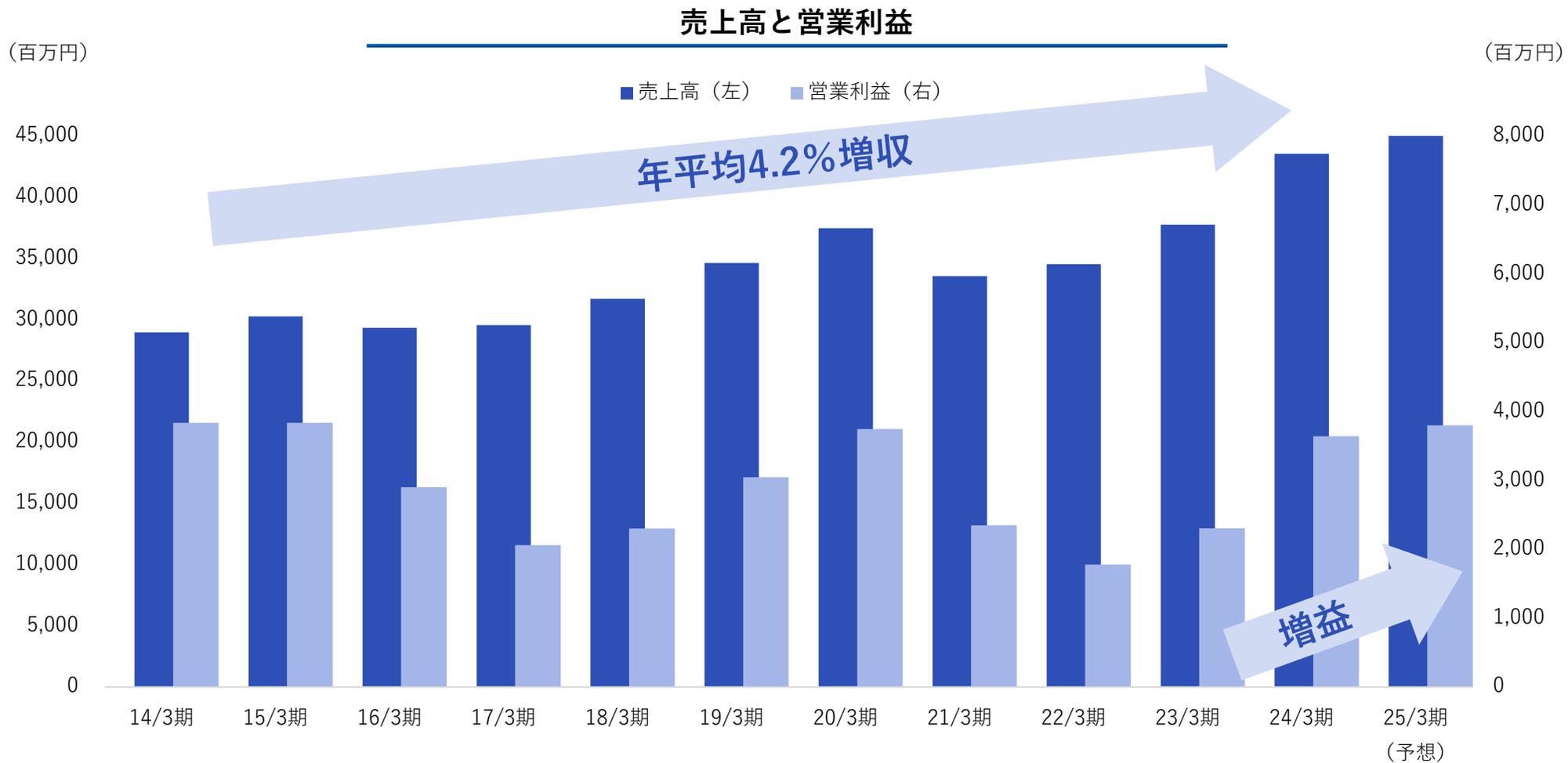
累計

150億円

以上

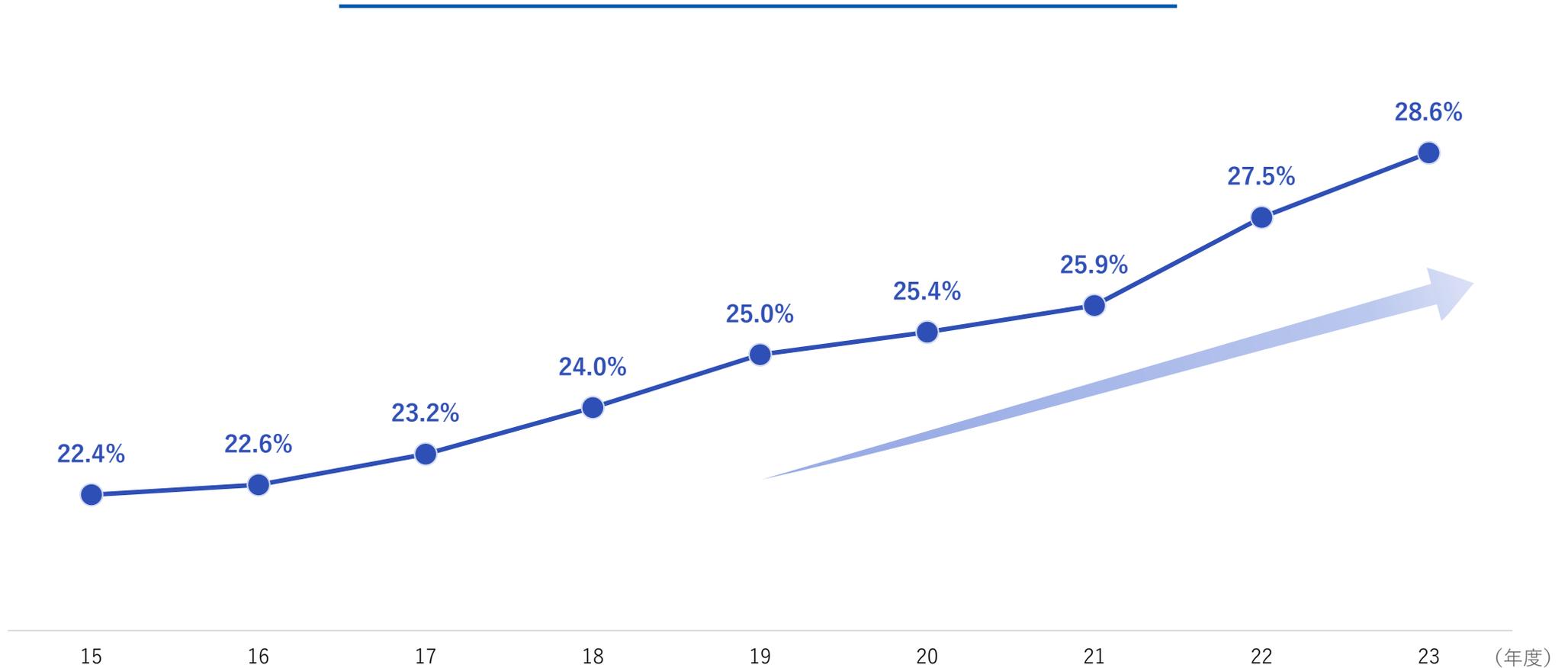
■ 間仕切需要拡大に伴い、売上高は2024年3月期まで過去10年間で年平均4.2%増収

■ 営業利益はオフィス向け好調による増収や軽量ドア・トイレブースでの原材料上昇分の価格転嫁等で、2024年3月期は57.8%増益



■ 新築ビル向けに加えて、オフィスのリニューアル需要を製品と営業の両面から取り込んできたことが奏功し、可動間仕切のシェアは増加

可動間仕切のシェア推移



(出所) 日本パーティション工業会

# オフィス内装の変化

■ アフターコロナでオフィスに求められるニーズが変化、機能とデザインを両立した間仕切を開発し付加価値を取り込み

## アフターコロナでオフィスの役割変化

出社と在宅のハイブリッド勤務の増加

コミュニケーションを生むために出社を促進

### Web会議スペースの充実

ボックスの導入



移動間仕切の導入



### 出社したくなるオフィス

コミュニケーションスペース充実



## ■ 特定したマテリアリティに基づき、マテリアリティ経営を推進する

	マテリアリティ	テーマ	関連するSDGs
E	持続可能な循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラルに向けた取り組み</li> <li>再生可能エネルギーの利用</li> <li>廃棄物削減と資源の有効活用</li> </ul>	
	製品を通じた気候変動対応への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>サステナビリティ製品対応に向けた製品開発・改良</li> </ul>	
S	人材開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成の強化</li> </ul>	
	Well-being	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンゲージメントの向上</li> <li>働きがいの向上、ワークライフバランス、健康推進</li> <li>人権・多様性の尊重と多様な人材の活躍 (ダイバシティ・エクイティ&amp;インクルージョン)</li> </ul>	
	DX推進と生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルデータの活用と社内業務の協働によるビジネスモデルの構築</li> </ul>	
	ステークホルダーエンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップの発揮</li> <li>サプライヤーとの共存共栄</li> <li>顧客満足・信頼の追求</li> </ul>	
G	ガバナンスの更なる改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスの徹底</li> <li>組織体制の全体最適化</li> </ul>	
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策、リスク管理体制の強化</li> </ul>	

# 工場

■ 石川県小松市、加賀市の4工場で間仕切・トイレブース・ドアを製造

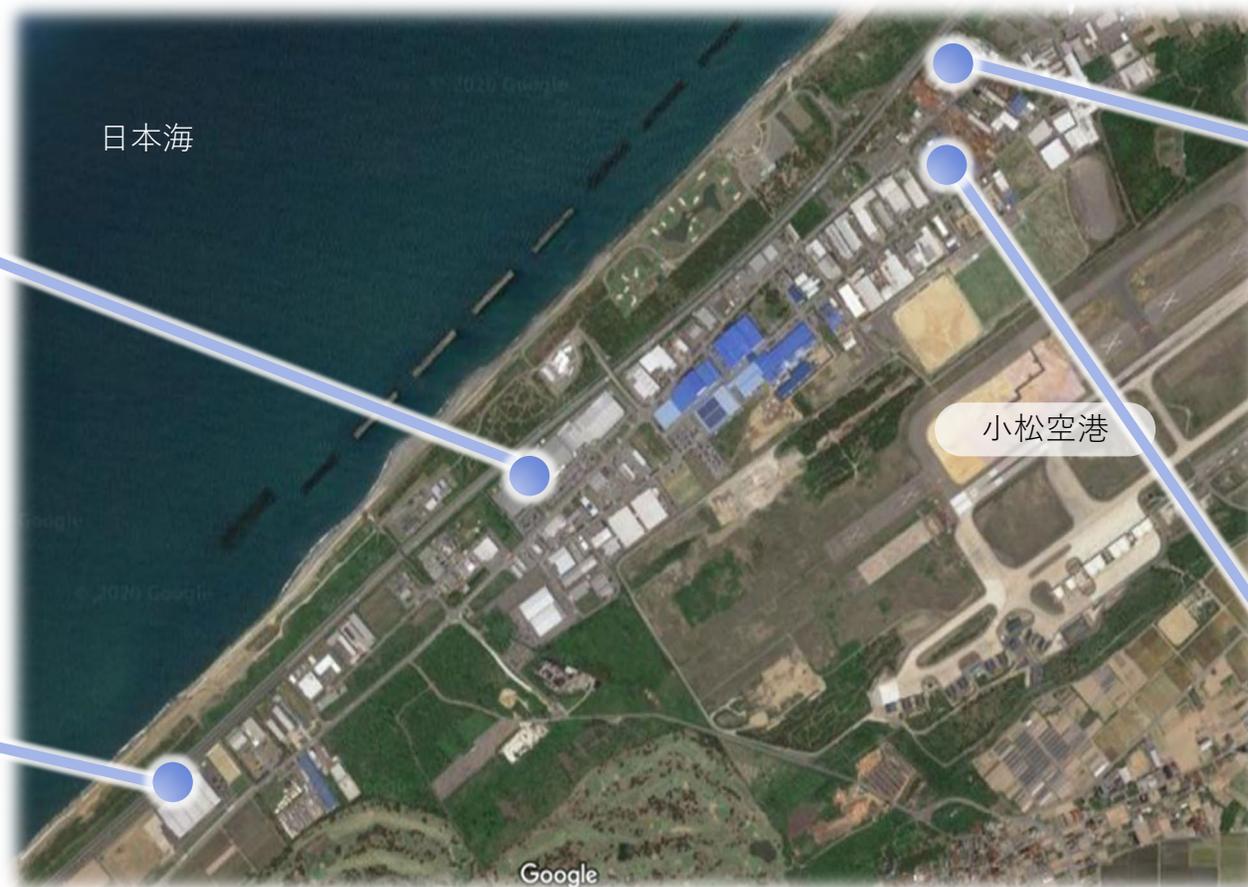
## 第三工場

可動間仕切の製造



## 加賀工場

ドアの製造



## 第一工場

移動間仕切の製造



## 本社・第二工場

本社及び  
トイレブースの製造

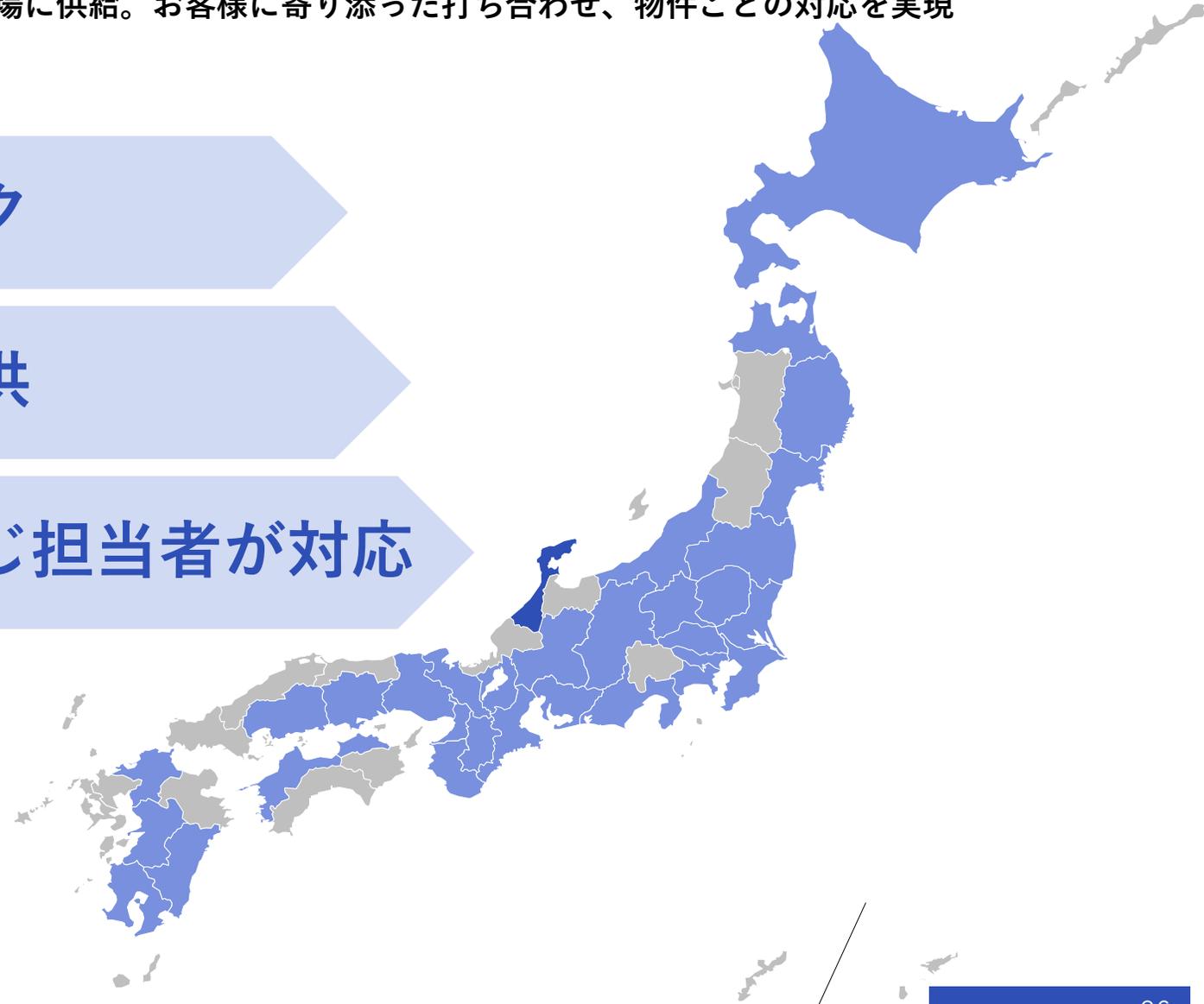


■ 全国に53拠点の支店を配置、全国に安定した納期、品質で市場に供給。お客様に寄り添った打ち合わせ、物件ごとの対応を実現

■ 地域での強いネットワーク

■ オーダーメイド品の提供

■ 受注から施工まで同じ担当者が対応



\*青色の都道府県には支店を設置

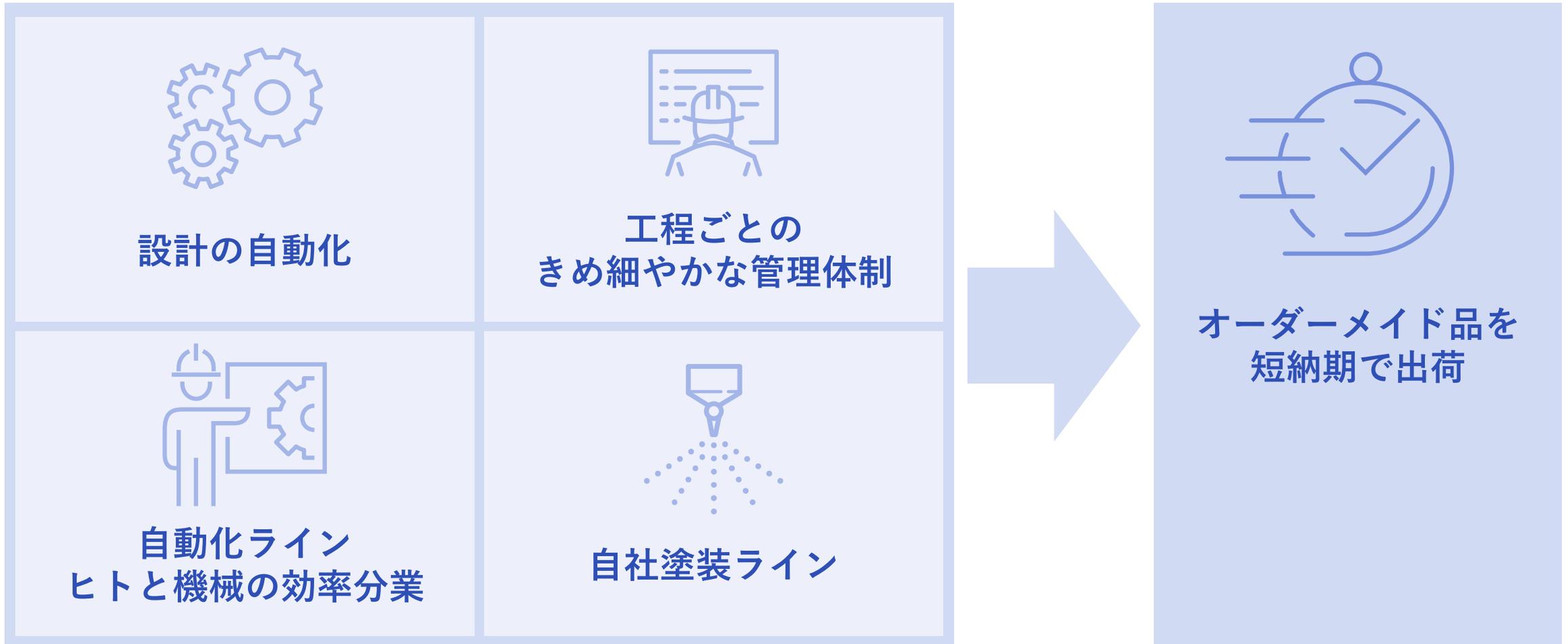
# オーダーメイド対応へのこだわり

■ 自社開発品の提案のみならず、設計事務所などからの要望に沿った製品も開発・設計



# オーダーメイドを短納期で成し遂げる生産ライン

■ 小ロット多品種生産ができる仕組みを作り、オーダーメイド品を効率的に生産。受注から出荷まで3~4週間で対応





小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社  
総務部

TEL 0761-21-3131(代表)

[https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form\\_id=201](https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。